

卒業研究Ⅱ

科目ナンバリング THE-402
必修 2単位

阪本 秀典

1. 授業の概要(ねらい)

教育学演習Ⅱは、教育学演習Ⅰと通年で行うことを前提とする。

3年生は、次年度に行う卒業研究に向けてのプレ研究として進める。そのために、研究課題の見いだし方、先行研究の見いだし方、研究の手法、論の整理など獲得する時間とする。

4年生は、それぞれ自分のRQに向けての問題解決を具体的に行っていく。具体として、先行研究を基にした、目的と仮説、方法などと結論の整合、プレゼンテーション能力、卒業論文の作成を通して、これらの能力育成を目指す。

2. 授業の到達目標

上述の能力を身に付けること、そして、見通しをもった自らの研究課題の方向性を見いだすことができる。

3. 成績評価の方法および基準

○演習への参加意欲や態度。

○論理的なものの考え方。

○自らの研究への姿勢。

○本授業で得られた知識・技能。

各々25%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

自らが、自分の研究について明らかになったこと、明らかになっていないことを分別しながら議論する。

今までの学修をいかし、より良い理科授業の在り方を再検討する。

6. その他履修上の注意事項

能力育成の立場から、どのような研究であっても、目的に即した研究方法を設計し、追究し、結論を見い出す力を培う。何のために理科教育を行うのか、理科における教科固有性から議論できる能力を培う。

7. 授業内容

- 【第1回】 自分もっている問題意識について
今、抱えている課題の見いだし
- 【第2回】 各自の個人研究の章立ての検討
より良い理科授業指導の検討①
- 【第3回】 各自の個人研究の章立ての再検討
より良い理科授業指導の再検討②
- 【第4回】 より良い理科授業の実際と検討会①
- 【第5回】 各自の個人研究の要旨の検討
より良い理科授業指導の検討②
- 【第6回】 各自の個人研究の要旨の再検討
より良い理科授業指導の再検討②
- 【第7回】 より良い理科授業の実際と検討会②
- 【第8回】 各自の個人研究論文の検討
より良い理科授業指導の検討③
- 【第9回】 各自の個人研究論文の再検討
より良い理科授業指導の再検討③
- 【第10回】 より良い理科授業の実際と検討会③
- 【第11回】 プレ卒業研究発表会①
- 【第12回】 プレ卒業研究発表会②
- 【第13回】 卒業研究発表会
- 【第14回】 野外活動 フィールド活動
- 【第15回】 振り返り
今後の研究の方向性について